

## ○山の日市民登山会

平成28年8月11日(木)

富良野岳・原始ヶ原

一般参加者：25名　その他関係者含め合計：59名参加

平成27年度に富良野市で行った登山道調査により、明確な登山道の無い原始ヶ原の中では、訪れる人の絶対数が少ないことで踏圧が分散され大きな侵食とはなっていないが、それでも一部に踏圧と流水による裸地化と複線化の広がりが予見できる箇所がある。

現在はまだギリギリ保たれている原始ヶ原の非常に脆弱な植生環境を富良野市民をはじめとする、原始ヶ原に関わる人みんなにどう伝えていくかが重要で、その方法の一つとして登山会にあわせた植生保全作業を開催した。

平成28年8月11日(木)

凌雲閣スタート ⇒ ニングル小屋ゴールの縦走路

- ・富良野市市制施行50周年記念事業として、本年度から施行となった8月11日の山の日に合わせて開催。
- ・裸地化部分にヤシ繊維のネットを敷く、または丸めるなどして設置。番線で固定。
- ・参加者は下山途中での作業となったため、疲れが見える人が多かったものの、普段やったことの無い作業であることと、グループで協力してそれぞれ役割を決めて作業を行うことで、歩き通しだった行程の中でリフレッシュできたと話す方も多かった。
- ・下山のリミットが決まっていたため、長く作業時間は取れなかったが、少ない時間の中で集中して作業が出来たように思う。



